

令和8（2026）年5月19日

報道関係各位



「何もしなくていい2時間」を銀座で提供 新潟の食・酒・文学を融合した新感覚イベントを開催

銀座・新潟情報館 THE NIIGATA（東京都中央区銀座）では、2026年6月12日（金）、新潟の食・酒・文学を融合した新感覚体験イベント「文学と食で感じる越後紀行」を開催します。

スマートフォンやSNSによって常に情報に触れ続ける現代において、「何もせずに過ごす時間」は失われつつあります。本イベントでは、そうした日常から少し離れ、“ただ身をゆだねる時間”を提供します。



会場はランタンの灯りが揺れる落ち着いた空間。来場者は新潟の地酒やおつまみを楽しみながら、新潟ゆかりの文学作品の朗読をBGMのように味わいます。静かに聴く必要はなく、飲食や会話、途中退出も自由。うとうととまどろむことも含めて楽しめる、これまでにない体験型イベントです。

当日は、新潟清酒や米菓、郷土食など、同館がセレクトした新潟の味覚を提供。朗読は、朗読プロジェクト「ふみを読む。」のメンバーが担当し、文学に詳しくない方でも気軽に楽しめる構成となっています。

「食」「酒」「文学」を通じて、新潟の魅力を五感で体験できる本イベントは、都市生活者に向けた新しいリラックス体験として提案するものです。



イベント概要

- イベント名： 新感覚朗読イベント「文学と食で感じる越後紀行」
開催日： 2026年6月12日（金）
時間： 昼の部 13:30～15:30 / 夜の部 18:30～20:30
会場： 銀座・新潟情報館 THE NIIGATA 3階 イベントスペース
参加費： 2,000円（飲食付き）
主催： 銀座・新潟情報館 THE NIIGATA
協力： TK&F 合同会社
お申し込み方法： HPの申込フォームからお申し込みください。
[👉 https://the-niigata.jp/event/13655/](https://the-niigata.jp/event/13655/)



出演者



中宮 沙希（なかみや さき）

役者・ナレーター。朗読プロジェクト「ふみを読む。」発起人。新潟県長岡市で生まれ育ち、幼少期から朗読をライフワークに。現在はオーディオブックのナレーターを担当するほか、演劇への関わり方についても様々な挑戦を行っている。

野ばら／小川未明
諦めている子供たち／坂口安吾
みみずく通信／太宰治



左隣 響翔（さとなり きょうと）

朗読家。主に YouTube で文学作品やオリジナル小説の朗読動画を配信す他、舞台朗読イベントへの出演も積極的に行い、オンライン・オフライン問わず生の声を届けている。

お貞のはなし／小泉八雲
気候と郷愁／坂口安吾



(参考)

朗読プロジェクト「ふみを読む。」Web サイト
<https://fumiyomi.jp/>



<お問い合わせ>

銀座・新潟情報館 THE NIIGATA 担当：高木
〒104-0061 東京都中央区銀座 5-6-7 TEL 03-6280-6635(代) MAIL the-niigata@nico.or.jp